

# 美濃・可児交通圏タクシー準特定地域計画（更新）

（令和7年4月～令和9年3月）

令和8年3月5日

美濃・可児交通圏タクシー準特定地域協議会

## 1. 計画策定の背景

### 1-1 タクシーの位置づけ・関連法

タクシーは「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」において、公共交通機関の一つに定義され、鉄道・バスと同様に、地域の足を担う公共交通機関としての役割を果たしている。しかしながら、タクシーを取り巻く環境は厳しく、人口の減少やモータリゼーションの進展、そしてバブル崩壊以降長引く景気低迷等によるタクシー需要の減少等により、旅客の減少が続き、一層厳しい状況となっている。

こうした状況は全国的であることから、国は「特定地域及び準特定地域における一般乗用自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」（以下、タクシー特措法）に基づき、地域毎にタクシーの活性化に取り組むように求めている。

### 1-2 交通圏の実態

美濃・可児交通圏は、JR、名鉄、長良川鉄道や路線バス、コミュニティバス、タクシー、デマンドタクシーなど多くの公共交通機関で住民の輸送を担っているが、人口減少、少子高齢化と自家用車利用により、公共交通機関の利用者が少なく、また乗務員不足を理由に減便や運行の見直しが進み、公共交通の維持と活性化が課題となっている。

一部の地域で、タクシー輸送の補完をするため「日本版ライドシェア（第一種運転免許取得者による旅客の運送）」を導入したが、需要が少なく、運行を維持することが困難な状況が続いている一方で、繁忙時間帯は、「タクシーを配車するまでに長時間を要する」との意見があるほか、外国籍住民が多く多文化共生のまちも相まって、輸送ニーズが多様化している。また、LPGの給油所の減少や営業時間の短縮に伴い、給油に長距離を走行するため、タクシー車両が近くにいない状況が出てきている。

昨今の、最低賃金や燃料の高騰、補助金の終了で、運営経費が上昇しており企業努力だけでは、追いつかない状況になっている。

令和6年度に実施した調査では、支部会員から下表の様な現状の課題が挙げられている。

#### 【現状と問題点】

- 乗務員不足と乗務員の高齢化
- 乗務員を募集しても応募者が少ない
- 午前中に比べて夜間の仕事量が少ない
- 移動時間の分散化と病院予約時間の多角化
- 割引（年齢、免許返納、障害者）の事業者負担が大きい
- 燃料・人件費の高騰など、運営経費の上昇
- 燃料費高騰等をスムーズに価格に転嫁できない
- LPG 給与所の減少及び営業時間の短縮によるロスの増加

## 2. 地域計画の位置づけ

需要減少などが続くと、24 時間のタクシーサービスが不可能であり、需要がある時間しか提供できなくなることが予想され、魅力的なサービス創造によってタクシーの需要を喚起するとともに、地域公共交通としての役割を担うべく業界連携・他主体連携のもと活性化方策を展開していく必要がある。

また、交通圏内において、適正なタクシー供給が継続的に実現されるように、需要の動向を踏まえて検討することも必要である。

そこで本計画では、これまでタクシー業界が取り組んできた様々なタクシー活性化・適正化の取り組みをさらに進めるとともに、自治体等と協働することで、より実効性の高い活性化策を実現するべく策定するものである。

## 3. 計画目標・構成

本計画の計画期間は2年（令和7年4月～令和9年3月）とし、次に掲げる目標を達成すべく、各タクシー事業者及び関係主体が連携して活性化策を実施する。

協議会は、活性化施策の進捗状況の確認・評価を行うと同時に、交通圏内のタクシー活性化を目指した連携・協議の場である。必要に応じて協議会に参画していない機関への協力を要請することとする。

### <目標>

タクシー事業の存続・活性化に向けて、「新たな輸送手段の導入・検討」、「協議会構成員と連携した取り組み」を一歩ずつ進める。

本計画は3部から構成される。

第1部は、「特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」に係るフォローアップ施策を掲げる。これらは、通達に基づき検証される。

第2部は、活性化策・適正化策を確実に実施していくため、各事業者が重点的に実施する「サービス向上に係る取組みの目標」ならびに「運営（人材確保・乗務員教育等）に係る取組みの目標」を掲げる。年度末に実施状況を確認する。

第3部は、交通圏独自の連携施策として、自治体等の協議会構成員と連携した取り組みを掲げる。協議会等での検討を重ね、計画期間内での実行を目指す。

## 第1部

### 「特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」に係るフォローアップ

国土交通省自動車局長からの平成28年12月27日付け国自旅第266号通達に基づく活性化事業（下記9項目）について、通達に基づき検証する。

内容	実施状況の確認
妊婦・子ども向けタクシー取組事業者数及び認定運転者数拡大	通達に基づき検証 ✓ 協会事務局が、毎年度実施状況の調査。 ✓ 調査結果を国へ報告 ✓ 各事業者においては、各項目の目標を設定し、目標達成に向け努める。
UD 研修受講事業者数及び受講運転者数拡大	
観光タクシー取組事業者数及び認定運転者数拡大	
外国語講習受講事業者数及び受講運転者数拡大	
アプリ配車の導入事業者数及び対応車両数拡大	
UD タクシーの導入事業者数及び導入車両数拡大	

環境対応車の導入事業者数及び導入車両数拡大	
先進安全自動車（ASV）導入事業者数及び導入車両数拡大	
クレジットカード・電子マネー等導入事業者数及び導入車両数拡大	

## 第2部 各事業者の重点目標

各事業者の「サービス向上に係る取組みの目標」ならびに「運営（人材確保・乗務員教育等）に係る取組みの目標」を示す。

協議会にて年度末の達成状況を報告するとともに、次年度の目標を掲げる。

### 1. 令和7年度（R7.4～R8.3）の各事業者の目標に対する達成状況

令和7年度の重点目標			達成状況
新 太 田 タ ク シ ー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗務員教育によるサービス強化</li> <li>新車への更新</li> <li>GOアプリの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な乗務員研修は出来たが成果は検証中</li> <li>予定通り推移</li> <li>未導入</li> </ul>
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗務員の採用強化</li> <li>自動点呼の導入</li> <li>柔軟的な勤務体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集媒体を増やし採用強化中</li> <li>導入済み</li> <li>段階的に整備中</li> </ul>
岐 阜 交 通 東 部	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>15分以内の配車を行うため自動配車を配備</li> <li>自社アプリによる事前確定運賃の導入</li> <li>料金改定により予約配車時間の遵守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年7月実装</li> <li>3月運賃改定予定の為、運賃改定後実装予定</li> <li>料金改定は3月実施予定の為、その際に実施</li> </ul>

	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カスハラ防止ステッカーを車内へ貼り付けお客様への抑止と共に乗務員を保護することで働きやすさをアピールする。</li> <li>・運送約款の改定</li> <li>・営業所周辺での町おこしイベントに参加（継続）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施済み</li> <li>・3月運賃改定予定の為その後に実施予定</li> <li>・関市の待機場をイベントスペースとして貸し出すなどして参加</li> </ul>
関 タ ク シ ー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社内、営業車の清掃活動</li> <li>・顧客情報の整理</li> <li>・安全意識の向上のための取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ達成</li> <li>・ほぼ達成</li> <li>・交通安全運動の時にミーティングにて強化</li> </ul>
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有給休暇の消化アップ</li> <li>・高齢者の採用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ達成</li> <li>・未達成</li> </ul>
可 見 タ ク シ ー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員教育によるサービス強化</li> <li>・新車への更新</li> <li>・GOアプリの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な乗務員研修は出来たが成果は検討中</li> <li>・予定通り推移</li> <li>・未導入</li> </ul>
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員の採用強化</li> <li>・自動点呼の導入</li> <li>・柔軟的な勤務体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集媒体を増やし採用強化中</li> <li>・導入済み</li> <li>・段階的に整備中</li> </ul>
美 濃 タ ク シ ー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の更新</li> <li>・従業員送迎などの定期利用の発掘</li> <li>・乗務員の健康管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンボタクシーの購入</li> <li>・会社側に積極的に薦めている</li> <li>・毎年実施</li> </ul>
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性乗務員の採用</li> <li>・乗務員の確保</li> <li>・乗務員のスキルアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未採用</li> <li>・既存の乗務員を留める事で確保</li> </ul>

川 辺 タ ク シ ー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安を与えないように安全丁寧な運転</li> <li>・要請があったら直に行く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくりと安全に運転するよう毎月の標語の掲示や口頭での注意喚起をし気を付けています。</li> </ul>
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員の超高齢化。できるだけ無理のない割に合う勤務形態</li> <li>・必要がある場合、何時でも乗って頂けるようにと考えています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休養は十分に取れています。</li> </ul>
岐 阜 名 鉄 タ ク シ ー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UDタクシーの導入も含み、コロナ禍で更新できなかった車両の代替更新</li> <li>・乗務員数をコロナ前の水準まで戻し、稼働率の引き上げ</li> <li>・女性ドライバーの採用強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JPNTAXI を 5 両導入</li> <li>・R7.4～12 で 12 名が入社するも、コロナ前の水準までは回復できず</li> <li>・1 名が入社</li> </ul>
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動点呼の導入によるDX化を図り、効率的な営業所の運営</li> <li>・タクシーメーター器の更新により、作業時間の短縮や勤怠管理などを効率化</li> <li>・日本型ライドシェアの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R6.12 より乗務後自動点呼の実施開始、R8.2 より乗務前自動点呼も開始し運行管理の効率化をした</li> <li>・R8.2 全車両タクシーメーター器 LT27 に更新</li> <li>・ドライバーが確保できず未実施</li> </ul>
日 本 タ ク シ ー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性乗務員比率 30% を目標に</li> <li>・UD車比率 80% を目標に</li> <li>・乗務員数をコロナ前の水準に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25% で未達</li> <li>・75% で未達</li> <li>・乗務員数コロナ前に到達目標達成</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・IP無線の導入。DX化を推進することで効率的な配車を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R8.4 以降に導入</li> </ul>

	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動点呼導入。DX化で効率的な運営を</li> <li>・外国人技能実習生の研究、採用を目標に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動点呼導入完了。達成</li> <li>・特定技能は研究継続。外国籍の乗務員は採用済。</li> </ul>
日 の 丸 自 動 車	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接客マナー研修の実施</li> <li>・清潔感のある車両の配備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UD研修・おもてなし研修等へ参加（計11名）</li> <li>・EV車両を10台導入</li> </ul>
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接客マナー研修の実施</li> <li>・清潔感のある車両の配備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UD研修・おもてなし研修等へ参加（計11名）</li> <li>・EV車両を10台導入</li> </ul>

## 2. 令和8年度（R8.4～R9.3）の重点目標

令和8年度の重点目標			備考
新太田 タクシー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員教育によるサービス強化</li> <li>・新車への更新</li> <li>・安心、安全の提供</li> </ul>	
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員の採用強化</li> <li>・柔軟的な勤務体制の確立</li> <li>・労働条件の見直し</li> </ul>	
岐阜交通 東部	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社アプリの改修（UI改善、チャット機能追加など）</li> <li>・子育てタクシー認定ドライバーの増員</li> </ul>	
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動点呼の導入</li> <li>・営業所周辺での町おこしイベントに参加（継続）</li> </ul>	
関タクシー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客のリピートの強化</li> <li>・安全認識の強化</li> </ul>	
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有給休暇の消化</li> <li>・高齢者の採用</li> </ul>	

可児 タクシー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員教育によるサービス強化</li> <li>・新車への更新</li> <li>・安心、安全の提供</li> </ul>	
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員の採用強化</li> <li>・柔軟的な勤務体制の確立</li> <li>・労働条件の見直し</li> </ul>	
美濃 タクシー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性乗務員の採用</li> <li>・乗務員のスキルアップ</li> <li>・車両の更新</li> </ul>	
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド向けの翻訳ツールの採用</li> <li>・乗務員の確保</li> <li>・女性・高齢者の採用</li> </ul>	
川辺 タクシー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様に安心していただける運転</li> <li>・できるだけ直ぐに要請に応える</li> <li>・丁寧な接客を心掛ける</li> </ul>	
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転手高齢化につき、健康管理に気を付ける</li> <li>・車内を清潔に保つ</li> </ul>	
岐阜名鉄 タクシー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・UD タクシーの増車およびガソリンハイブリッド車の導入</li> <li>・GO アプリを全車両で稼働</li> <li>・IVR を使用した配車システムを導入し、利用者のタクシー手配の簡素化および利便性の向上</li> </ul>	
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性ドライバーの採用強化</li> <li>・IVR を使用した配車システムを導入し、配車オペレーターの負担軽減および夜勤オペレーターの効率化</li> <li>・営業基幹システムの更新により、日報処理の効率化による作業の軽減</li> </ul>	

日本 タクシー	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化に対応すべく高齢者に評判の良い女性乗務員割合 30%を目標に</li> <li>・脱炭素に向け HV 車を 80%以上の割合に</li> <li>・アプリ配車の需要に答えるため、全車に配車アプリ GO の実装</li> <li>・需要に対応するため乗務員数 300 人超に</li> <li>・介護資格乗務員の増加</li> </ul>	
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LP スタンド減に対応すべく簡易 LP スタンドの設置</li> <li>・乗務員のスキルアップとして大型 2 種養成を 10 人</li> <li>・運賃アップに伴い乗務員の給与増加</li> <li>・デマンドタクシーの積極的推進</li> </ul>	
日の丸 自動車	サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済の拡充</li> <li>・UD 車両への順次代替</li> </ul>	
	運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員採用強化</li> <li>・キャッシュレス決済操作、理解の向上</li> <li>・地域公共交通への貢献</li> </ul>	

### 第 3 部 交通圏独自の連携施策

協議会等での検討を重ね、自治体等の協議会構成員と連携した取り組みを掲げて、計画期間内で実行することを目指す。令和 6 年度に実施した調査結果のうち、業界連携・他主体連携のもとで進めたいと回答された施策案を示す。

<b>回答結果</b> <b>タクシー事業者の</b>	<地域のタクシー事業者との共同・連携したいサービス>
	日本版ライドシェアの導入拡大
	防犯タクシー（犯罪情報と防犯情報の共有）
	<自治体との支援・連携したいサービス>
	・デマンドタクシーの研究・情報共有
	・通信型ドライブレコーダーを導入することで災害時の道路被害の情報提供

	・乗車効率を上げるための乗り合わせタクシーの研究
	・夜間利用の仕組みの研究

自治体等の回答結果	タクシー事業者への意見・要望など
	運転者不足の解消
	24時間運行
	デマンドサービス拡大等への協力
	タクシー事業者の情報集約と見える化
	高齢者等の移動ニーズに合った輸送の検討
	可能な限りの介助

協議会では、災害時等における輸送業務に関する協定の締結に向けた検討を進めており、令和4年に美濃加茂市と関市で自治体とタクシー事業者間で災害時の輸送協定を締結した。その後、他の自治体との輸送協定の締結に向けて協議会を活用して検討している。新たな進展がない状況ではあるが、今後も引き続き協定の締結に向け連携して検討を進める。

一方で、協議会構成員の自治体から「交通空白地」や「交通空白時間帯」の有無などを聞きつつ、その地域等でのタクシー不足による新たな輸送サービスの導入の必要性などを研究する。